

盆が過ぎるとまだ日射しは強く、秋の気配はないが空は高く澄み、ああ日本は美しいと思う。

しかしまてよ。これは世界共通ではないのか。どこにいても秋は同じく人心をくすぐるのではないかと思う。

大体うたは秋の気配とともに生まれる。

つまり、実りを言寿ぐのだ。自然の恵みに感謝の念をうたはあらわすのだ。これは世界中人が生きているところには共通であろう。

元来うたはそうして生まれた。悲しい時に人はうたわない。

しかしまてよ。うたえる人もいるかもしれない。悲しみをまぎらわせるために。世界は広く大きい。

(重朝記)